

東日本大震災 第6班 救護活動報告

活動期間 平成23年4月21日（木）から 4月23日（土）

活動場所 宮城県石巻市近郊

班員編成

隊長	澁谷	医師
副隊長	下野	看護師
隊員	早矢仕	看護師
	間宮	薬剤師
	岡本	理学療法士
	野田	事務員

活動内容

4月20日（水）

7:00 出陣式を終え宮城県石巻赤十字病院へ向けて出発する。

17:40 東海北陸道（関IC）・東海環状道・中央道・首都高・東北道・仙台南部道・三陸道（鳴瀬奥松原IC）を経て石巻赤十字病院に到着
対策本部に到着報告をすると共に、活動地区・活動内容等を確認した。
また、カルテ等による患者情報等の情報収集を図った。

18:45 本部要員 高階医師（京都支部）より

- ・ 砂埃他による咽頭の痛み・花粉症を訴える患者が多い。精神科・小児科はスポット対応している。
- ・ 入院加療が必要な場合、
軽症（短期）：ショートステイベース（エリア15）をへ
それ以外（中・重症）は石巻赤十字病院へ
移動手段は、119番で対応（救急車使用）
- ・ 活動地区 「雄勝地区」は、水が絶たれており、雄勝総合支所から大須小学校へ向かう道路の一部が冠水している。又、断続して地鳴りがしている。（石巻市内10cm程度の地盤沈下があり、昨日は満潮と大潮が重なり143cm冠水した。）
- ・ 薬品は持参品から使用すること。
などの説明を受ける。

19:10 宿泊先に向け石巻赤十字病院を出る。

20:00 宿泊所着

4月21日（木）

- 6 : 15 石巻赤十字病院へ向け宿泊所を出る。
55 到着後、処方箋薬を受取り、本日の活動内容を再確認した。
7 : 25 活動地区「雄勝地区」へ向け石巻赤十字病院を出る
8 : 20 雄勝総合支所着 保健師と面談し「大須小学校」へ向け出発する。
55 大須小学校着 避難者数 539 名（体育館 129 名 自宅 410 名）

名古屋第一赤病院より救護に係る引継ぎを受ける。

- ・ 診療時間 9:00 ~ 12:00 15:00 ~ 18:00
 - ・ 14:00 ~ 15:00 体育館に避難している方全員の血圧測定
 - ・ 巡回診療
- 巡回地域を 7 分割してある。活動記録等から巡回地区を自らの判断で決めて行う。また、区長会が毎週月・水・金に行われ、巡回していただきたい対象者等の情報を聞く。（要介護者の情報は民生委員に聞く）
- ・ 水は給水車による配水のみ。水は貴重
 - ・ 計画停電 夜 9:00 から翌朝 6:00 まで停電
 - ・ 本日（21 日）より鍼灸院開設 9:00 ~ 18:00

などの情報を引継いだ。

その後、澁谷隊長を中心に話し合いを設け、救護所チームと巡回チームに分けて活動を行うこととした。

救護所チーム 澁谷医師・早矢仕看護師・間宮薬剤師

巡回チーム 下野看護師・岡本理学療法士・野田事務員

【救護所チーム】

14 : 00 体育館にて血圧測定 26 名

15 : 00 ~ 18 : 00 診療 5 名 （処方箋依頼・打ち身・花粉症など）

【巡回チーム】

13 : 00 大須上地区 4 件

14 : 00 要介護者情報を得るため民生委員面談する

15 : 00 桑浜・羽坂地区 10 件

16 : 15 大須小学校着

19 : 00 ミーティング（本日の活動報告・明日の活動内容等の確認）

※ 大須小学校で宿泊

4 月 22 日（金）

7 : 00 救急患者対応 発熱・せき症状

9 : 00 エリア会議のため雄勝総合支所へ行く。（下野副隊長・野田主事）

到着後、昨日の診療カルテの写し・処方箋・要介護者リストを提出した。

※ 引継ぎ班 石川県支部 金沢赤十字病院と合流

10:15 大須小学校着

引継ぎ事項の説明した。

【救護所チーム】

9:00 ~ 12:30 診察 16名 (処方箋依頼・せき・肩痛など)

13:30 巡回診療

荒地区 1件 ジョクソウ患者の処置

大須上地区 4件 区長依頼による巡回

15:00 巡回診療終了(大須小学校着)

30 石巻赤十字病院へ向け大須小学校を出る。

16:30 石巻赤十字病院着

活動報告・処方箋の提出等を行い、明日の活動地区・内容等を確認する。

18:00 全体ミーティング参加

30 宿泊先に向け石巻赤十字病院を出る。

20:00 宿泊所着

4月23日(土)

7:10 石巻赤十字病院へ向け宿泊所を出る。

途中交通状況が悪くなり、急遽病院へ向かう班と救護所へ向かう班に別れ行動した。(診療開始時間9:00に間に合わないと判断したため)

病院班

8:20 石巻赤十字病院到着 名古屋第二赤十字病院 金光医師(整形外科)と合流し
活動地区「河北地区」ビックバンへ向け出発する。

9:10 到着

救護所班

8:30 ビックバン到着 診療所の設営等行う。

9:00 受付開始

9:10 診療開始 19名

12:15 診療終了

20 石巻赤十字病院へ向けビックバンを出る。

30 本部到着 活動終了報告、処方箋の提出等を行った。

45 新潟(宿泊先)へ向け石巻赤十字病院を出る。

18:00 三陸道(鳴瀬奥松原IC)・仙台南部道・東北道・磐越道・北陸道(新潟西IC)
を経て宿泊所に到着

4月24日(土)

9:00 岐阜赤十字病院へ向けて宿泊所を出る。

15:10 北陸道(新潟西IC)・東海北陸道(関IC)を経て赤十字病院に到着

活動した雄勝市大須地区は「陸の孤島」と呼ばれ、震災後 1 週間外部の手が差し伸べられなかった地区であった。石巻市と雄勝市を結ぶ道路は、堤防や防波堤などが決壊しており、現在も満潮時には通る事のできない道路であった。海岸付近の町並みは、津波の影響で瓦礫の山とかし 3 階建ての建物の上に観光バスが乗っている有りさまであった。本部要員の話では、海岸付近に在った雄勝市民病院（3F 建て）は、患者・職員全員亡くなったと聞き、背筋が凍りつくような、すさまじい津波の猛威を感じた。このような光景のなか自衛隊員は、行方不明者の捜査活動や瓦礫の撤去を手作業で行っていた。

避難所「大須小学校」は、校庭に「SOS」の文字を描き外部の救援を望んだ小学校である。建物被害は高台に在ったため津波の影響はなく、地震による被害も少なかった。水は、給水車の配水のみで大変貴重な物であり、電気は夜間（21:00～翌朝 6:00）停電になる環境であり、いつ陸路が断たれるかわからないと云うことなのか、現在（4/21）も食事は朝夕の 2 回しか摂っていない。被災者の方は、このような環境の中で生活をしている。

最後に被災に遭われた方のお見舞いと、いち早い復興をお祈り申し上げます。